

YOSAKOI

ソーラン祭り



こうよう会北海道支部長 杉崎 一博

6月初旬、今年も北海道の初夏の風物詩であるYOSAKOIソーラン祭りが6月4日(水)～8日(日)まで延べ5日間に渡って270チームが参加し、21会場で熱戦が繰り広げられました。

いまやYOSAKOIソーラン祭りは冬の雪祭りと並ぶビッグイベントで、毎年この5日間で200万人もの観光客が訪れます。この期間札幌の街は踊り子たちの熱気と笑顔で活気づきます。

東京理科大は今年で出場13回目、約100人のメンバーが踊りに参加しました。今年のテーマは「我楽多」。祭りにのめり込み心から感じる数多の楽しさを、持ち味である若さ、元気で共に爆発させ、観る人の心動かす演舞が目標でした。

100人もの大勢で踊る演舞は元気とパワーと、そして笑顔が満ち溢れていました。

我々こうよう会役員メンバーも理窓会の方々と一緒に理科大の旗を持って応援しました。旗を持って応援していると、沿道の方々の目にも止まり、理科大を大いにアピールすることが出来たの

では・・・と思っています。また、道外からYOSAKOIソーランの部員・OBのご父母が応援に駆け付け一緒になって応援しました。昨年もお会いした方もいらっしゃいました。YOSAKOIソーラン部の皆さま、本当にお疲れさまでした。そして、感動をありがとう。YOSAKOIソーラン部のOB・OG、ご父母、そして、こうよう会・理窓会も一緒に応援でき、とても楽しかったです。

皆さまの素晴らしい演舞、そして元気と笑顔に心より乾杯！！

《最後に》・・・

YOSAKOIの素晴らしいところは、どのチームも、どんなに疲れていても全員笑顔を一杯ふりまき、メンバーが一丸となって一生懸命に踊ることです。どのチームも笑顔一杯で観客に感動と元気を与えてくれます。躍動感、一体感、そして何と言っても最大のキーワードは踊り子たちの笑顔。これに勝るものはありません。それが見ているものを魅了し、感動へと導いてくれます。笑顔あり、感動あり、そして涙あり。

— それが、YOSAKOI —

